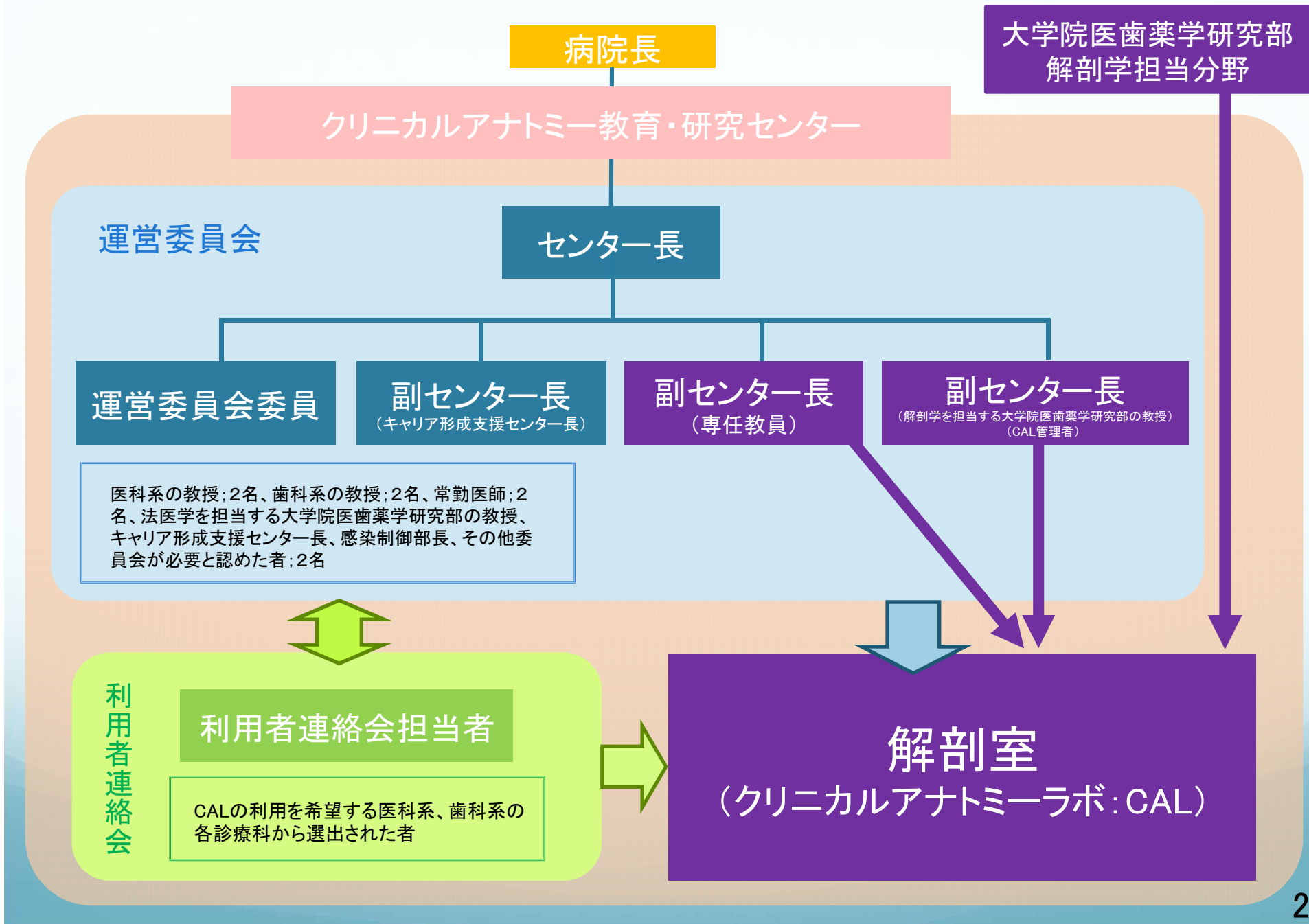


「平成29年度実践的な手術手技向上研修事業に関する評価報告」

H29年度 CST実施実績

診療科	テーマ	参加人数 * () は見学者で内数	実施日
整形外科	経皮的内視鏡視下腰椎椎間板ヘルニア摘出術、肩関節鏡手術、手外科手術、人工関節置換術	75 (10)	H29.6.7 外15日
泌尿器科	胸腔鏡下仙骨脛固定術 (L S C)	10 (1)	H29.9.2
食道・乳腺甲状腺外科	食道切除術	3	H29.8.2
呼吸器外科	胸膜切除剥皮術	8	H29.10.20
消化器・移植外科	腹腔鏡下消化管・肝胆膵手術	17	H29.7.1 外3日
脳神経外科	先進的脳神経外科手術	14	H29.7.8 外3日
麻酔科	超音波ガイドの神経ブロック手技の習得	6	H29.8.28
循環器内科	冠動脈血管内イメージング法による冠動脈プラーク性状評価の判読トレーニング	4	H29.11.2、H30.2.15
形成外科・美容外科	骨格形成術	9	H29.11.3、H29.11.10
口腔外科	顎関節に対する外科手術	26 (16)	H29.11.26
CST実施件数	33件	使用ご遺体数	13体 (実数)

CST組織の概要説明

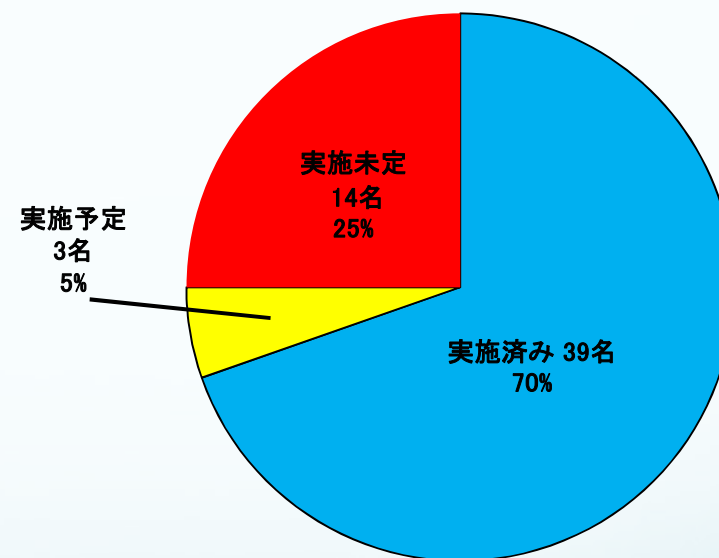


実施対象者(平成28年度～平成29年度)

- ・ 実施回数:41回
- ・ 参加者数:159名
- ・ 受講者数:99名
- ・ 評価者数:17名

診療科名	申請件数	実施回数	受講者	評価者
整形外科	2	15	33	6
泌尿器科	1	4	13	2
食道・乳腺甲状腺外科	1	3	9	3
呼吸器外科	1	1	1	1
消化器・移植外科	1	4	5	
耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1	2	6	2
脳神経外科	1	7	12	
麻酔科	1	1	5	1
形成外科・美容外科	1	2	5	2
循環器内科	1	1	2	
歯科口腔外科	1	1	8	

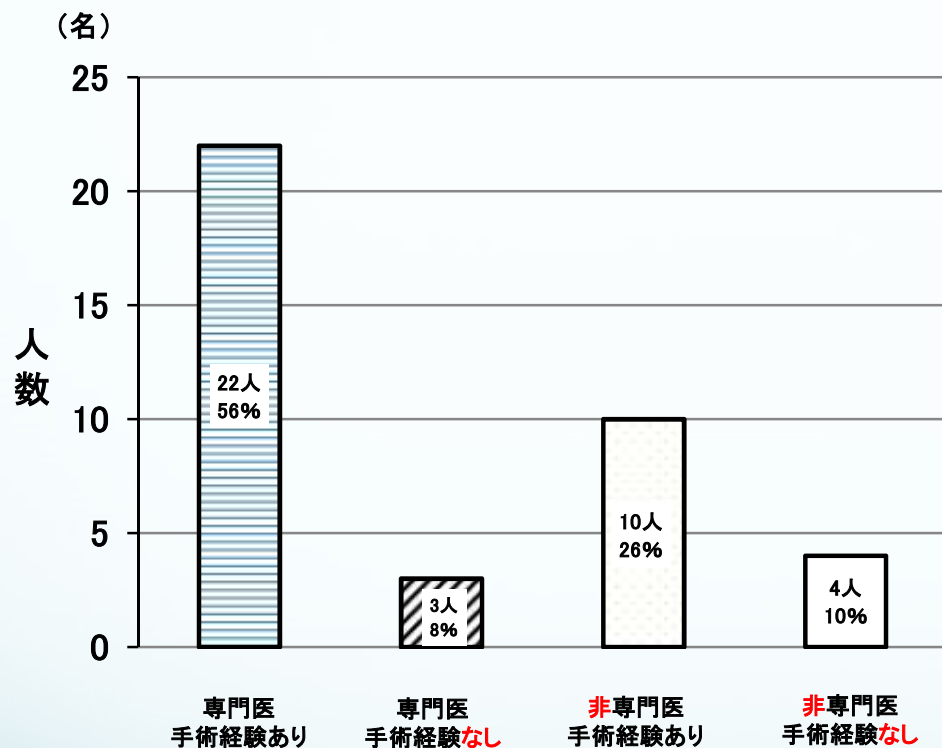
Q: 受講後、参加者先生は貴施設で研修した手技を実施されましたか?



勤務先指導者からの回答:56名

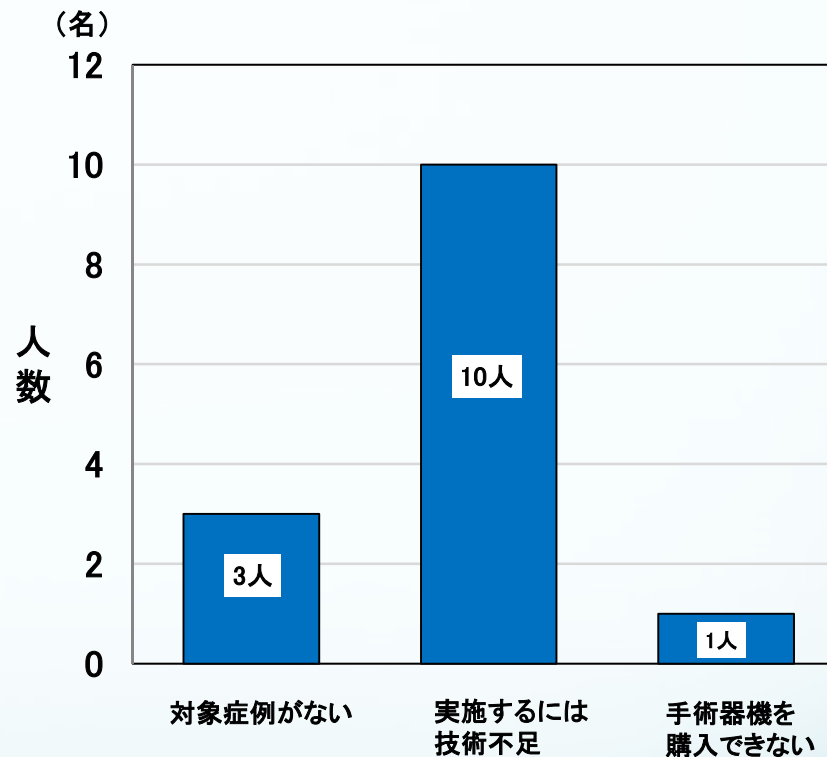
平成28年度受講者の勤務先指導者にアンケートを実施

Q: どんなtypeの医師・歯科医師が研修した手技を実施できたか?



実施者数: 39名

Q: 研修した手技が実施未定である理由は?



未実施者数: 14名

平成28年度受講者の勤務先指導者にアンケートを実施

事業の立ち上げ及び運用する上で経験した課題と具体的にどのように解決してきたのか

- **人材の確保や設備の充実が必要である**
 - ・解剖学教室の管理の下、専属に従事する医師を確保し運営している
 - ・事務的な統括、資金の運営を病院所属部署に設け運営している
- **安定した研究、運営を行えるように資金が必要である**
 - ・学内各分野の実施している分野から年間10万円、未実施の分野から1万円の運営資金の寄付をいただき運営にあっている
 - ・個々の医師・歯科医師が科学研究費を始め外部資金の獲得に積極的に応募し、採択されている

サージカルトレーニングを行ったことで得られた効果(具体的にどのような臨床手技に役立ったのか)

- 我々の施設でも全国から医師を受け入れ内視鏡手術等の低侵襲外科手術の手術手技研修会開催を行っているが、追跡調査を行い勤務先で安全に実施可能となっているかどうか調査している施設は少ない
- 我々の施設では各受講者や各施設の指導者にサージカルトレーニングを実施、経験後に安全に合併症なく実施できたかどうかの調査を開始している

今後サージカルトレーニングを継続する上での課題について

- **資金面**
 - ・同施設に従事する医師への人件費
 - ・施設を運営する運営費
 - ・施設に完備する機器の修理、保守費用
- **同施設に従事する人材不足**
 - ・同施設に従事する医師確保
 - ・同施設に従事する事務職員の確保
- **解剖学教室に所属する技術職員の負担軽減**